

沖縄のフロラを二分する境界線（七）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 正宗, 巖敬, Masamune, G. メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065662

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



合弁花類 つつじ科 アセビ (アセボ), シヤクナゲ類 (シヤクナギ), シヤシヤンボ (チヤセンボ, チヤセンボロ), やぶこうじ科 ヤブコウジ (ジジンコ), りんどう科 センブリ (トウヤク), ハルリンドウ (フデソウ), ひるがお科 ヒルガオ (ミミダレソウ), しそ科 シソ (シソウ), なす科 ジャガイモ (ジャガタラ, ジャガタライモ, バレイシヨ), センナリホオズキ (センナリボウズキ), チョウセンアサガオ (キチガイナス, キチゲナス), トウガラシ (トンガラシ, ナンバ), トマト (アカナス), ナス (ナスビ, ナスビノキ), のうぜんかずら科 ノウゼンカズラ (ビンボウカズラ), おおぼこ科 オオバコ (オンバコ), あかね科 ヤエムグラ (モングサ), うり科 トウグワ (トウガン), シロウリ (ツケウリ), ナツメウリ (キナウリ), ヒヨウタン (ヒヨコタン), ユウガオ (ユウゴン), きく科 オオアレチノギク (メイジグサ), キンセンカ (トキシラズ), コスモス (ゴクラクソウ), ゴボウ (ゴンボ), タウコギ (ツギツカミ, トビツカミ), タンポポ (タンポコ), チシヤナ (キシヤナ, キシヤバ), ノコンギク (ノギク), ハハコグサ (トンゴ, トンゴソウ), ハルシヤギク (ホタイログサ), ヒマワリ (ヒグルマ), ヒメムカシヨモギ (メイジグサ), ヒメジヨウオン (メイジグサ), ヨモギ (モグサ), ヨメナ (ノギク)。

参 考 文 献

碧海郡教育会編, 1916「碧海郡誌」

正宗厳敬 沖縄のフロラを二分する境界線 (七)

G. Masamune: The Line of Demarcation which Divides the Flora of Okinawa, in Two Regions. (VII)

ヤエヤマシタン (*Ptero-carpus vidalianus* Rolf.) 石垣島に産する, シタンの一種で莢の外に剛毛がある, フイリツピン群島より, 台湾を飛んで石垣島にまで分布されており, ヒルギカヅラとこの点では似た分布をするがこの線の北には分布しない。ただこの場合, 本種は自生だか, 移入だか不明の点がある。

リリウキウミヤマトベラ (*Euchresta horsfieldii* Bennet) 西表島に産する。台湾より南方に向つて分布する。そしてこの線の北がわに未発見である。私の見たパリ自然科学博物館にあるジャワ産のものと, 西表産のものとは同種のように見えた。

トウアヅキ (*Abrus procatherius* Linn) 本種は移入種かもしれないが, 石垣島と西表島では自然にもとからあつたような状態で多量に見出される。こうした状態のものは此の線の北側では見出されない。

キンチャクマメ (*Pycnospora nervosa* Wight et Arnot) 八重山群島ではしばしば見出され, 台湾より南方に広く分布するが, 私はこの線の以北では見出していない。

ミヤコジマツハマメ (*Glycine koidzumii* Ohwi) 宮古島に特産のものだという。したがって沖縄本島などのこの線の北がわには分布しないことになる。